

高齢者の生涯現役・社会参加に関するイメージ(案)

福祉側

⇒ 就労機会の拡大

生涯現役・社会参加

経済側

⇒ 高齢者雇用の裾野拡大

起業・雇用創出

新たな施策の
検討による対応

生きがい・健康づくり

- ・ボランティア
- ・生活支援、支え合い
- ・生涯学習

軽易な就労

- ・清掃
- ・駐車場管理 等

中間的な就労

- ・企業や地域における
週3日程度の就労

雇用

- ・企業におけるフルタイム中心の
雇用(継続雇用)

【前回会議における議論】

- 行政サービスにこだわらずに、市全体の経済活動の中で、高齢者の就労促進策をどのように展開していくのかという視点を踏まえて議論
- 次回会議で、行政業務の具体的な事例を示して検討

行革審の対象範囲

※網掛け部分は、「高齢者の就労促進に関する検討会議」での検討対象範囲

※第2回、第3回の審議内容(イメージ)

【行財政改革の視点】

- 官民連携の推進と民間活力の活用
- 効率的な組織体制の確立
- 人材育成・活用の推進

【事例と審議の方向】

- 行政サービスに関する業務(行政事務、委託業務等)、民間における高齢者就労の先進例など
- ⇒ 業務分類、環境整備等による就労の場の創出
- ⇒ 就労の場の効果的な情報提供等の方法(プラットフォーム) など

現行の取組の改善・充実による対応